



発行  
 公益財団法人 兵庫県社会  
 身体障害者福祉協会通  
 神戸市中央区坂口1号  
 2丁目1番1号  
 兵庫県福祉センター6階  
 TEL 078-242-4620  
 FAX 078-242-4260  
 発行人 和田 修

令和二年

### 新年のごあいさつ



公益財団法人  
 兵庫県身体障害者福祉協会  
 理事長 **和田 修**

新年あけましておめでどうございませう。  
 令和になってから初めてのお正月です  
 が、皆様には、ご健勝にて新年をお迎え  
 のこととお慶び申し上げます。



兵庫県知事  
**井戸 敏三**

### 令和新時代 復興の、その先へ

令和二年新春メッセージ

新年あけましておめでどうございませう。

阪神・淡路大震災から間もなく二十五年  
 を迎えます。この間、国内外の人々が  
 驚くほどの創造的復興をなしとげました。  
 しかし、危機に陥った財政の建て直しに  
 取り組まざるを得ないなど、苦難の連続  
 でした。令和の時代の到来とともに、  
 新たなステージへのスタートを切る環境  
 が整いました。

昨年、当協会の事業推進につき  
 まして、井戸兵庫県知事様をはじめ、  
 兵庫県健康福祉部の職員の皆様方、また、  
 各市町の職員・各市郡町の身体障害者  
 団体の皆様方等、多くの皆様方から、  
 格別のご指導とご支援を賜り、厚くお礼  
 申し上げます。

さて、今年、2020年は、東京オリ  
 ンピック・パラリンピックが開催される  
 こととなっております、障害者に対する関心  
 も高まってきているところですが、未だ

二十五年の節目を機に改めて原点に  
 立ち返り、震災の経験や教訓を忘れず、  
 伝え、これを活かし、しっかりと備えて  
 いきます。

この安全安心の基盤の上に、二〇三〇年  
 の展望の具体化を図り、すこやか兵庫  
 づくりに取り組み、未来へのシナリオを  
 しっかりと進めていきます。

第一は、安全安心な兵庫の構築。南海  
 トラフ地震や風水害へ備え、安全な県土  
 を築きます。二〇二五年問題に対応する  
 ための在宅医療・介護体制の充実や地域  
 医療の確保など、安心して暮らせる基盤  
 をつくりまします。

第二は、地域の元気づくり。人口流出  
 に歯止めをかけ、社会減を解消し、自然減

障害者に対する差別が払拭されたとは言  
 い難く、依然として障害者に対する認識  
 不足や差別意識・偏見等が根深く残って  
 いるというのが現状ではないかと思ひ  
 ます。

そのためには、障害のある私たち自身  
 が、地域社会の中で障害理解の発信者と  
 して、障害に対する正しい理解と差別や  
 偏見を生まない社会の意識を育てていく  
 ことが大切ではないかと思ひます。

そして、障害者も社会の一員として  
 自立し、誰もがどこでも安心して暮らせる  
 社会、地域生活が保障される社会の実現を  
 目指して、全国の障害者や福祉団体と  
 手をたずさえて、共に頑張っていまい  
 たいと思ひます。

最後に、当協会に対しまして、これ  
 までと同様、一層のご支援とご協力を

を縮小する人口対策に取り組みます。  
 次世代産業の創出を支援し、起業しやすい  
 環境を整えます。農林水産業の基幹産業  
 化も推進し、活力ある兵庫をつくりまします。

第三は、交流・環境の促進。五国の  
 魅力を活かし、観光交流、スポーツ  
 ツーリズムを推進し、交通インフラの  
 整備を加速させます。三宮再整備や県庁舎  
 の建替などまちの再生を急ぎまします。

私たち兵庫は、震災という誰も経験した  
 ことのない試練を一丸となって乗り越え  
 てきました。復興のその先の新たな  
 ステージでも、課題に対して果敢に挑み、  
 ともに手を携え、すこやかな兵庫の実現  
 をめざしましょう。

賜りますようお願い申し上げますととも  
 に、本年の皆様方にとりましてより良い  
 年になりますよう心からご祈念申し上  
 げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



平成から令和へ 新たな時代に  
 すこやか兵庫をめざし歩まん



## 近畿ブロック福祉大会と相談員研修会が堺市の国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)で開催されました

令和元年11月18日(月)、日身連近畿ブロック連絡協議会の第39回福祉大会と第21回相談員研修会が、堺市の国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)において、大阪市身体障害者団体協議会主管のもと、近畿各地から約500名の参加を得て、盛大に開催されました。(うち兵庫からは35名が出席)

午前の福祉大会は、主管団体挨拶、来賓祝辞などのあと、前年度決議事項処理報告、大会宣言、大会決議と議事が進みました。

前年度決議事項処理報告では、日身連の全国6ブロックより提出された要望事項が、取りまとめられ、「日身連要望事項」として国の関係省庁(厚生労働省13項目、内閣府3項目、内閣官房2項目、国土交通省5項目、文部科学省1項目、観光庁1項目)に提出された旨、報告がありました。各関係省庁からの回答は「日身連要望事項回答文書」として取りまとめられたところです。

大会宣言では、令和の時代に差別の無い共生社会を実現すべく、連帯を確認し合い、障害者があらゆる局面で主体的に参画し関連施策の完全実施を目指すことが私たちの役割であるとして一人ひとりが自覚し、この大会を機に一致

団結して行動していくことを誓いました。

これを受けた大会決議では、①障害者差別解消法の周知浸透、また同法での合理的配慮の提供義務化や権利侵害救済機関のあり方等に向けた所要の見直し、②聴覚障害者に対する情報アクセシビリティと意思疎通の保障、手話言語法の制定、③障害者相談員の身分等法制度の充実強化、④障害者相談員の活動に大きく影響している、個人情報保護法等の見直し、⑤災害対策会議、委員会に障害者団体の代表及び障害者相談員の参加を義務付けし、要援護者の名簿共有ができる防災減災のネットワーク化、⑥日本エレベーター協会の安全基準であるエスカレーターでの歩行禁止や片側空けが危険であることの周知徹底、⑦駐車禁止除外指定車標章の交付要件に個人の状況を考慮するように交付基準を緩和することなど、計15項目が、国や関係機関に対する要望事項として採択されました。

午後からは、身体障害者相談員研修会が開催され、内閣府政策統括官(共生社会政策担当)付、衣笠秀一障害者施策担当参事官が、「障害者差別解消法について」と題して、講演を行いました。

内容は、①障害の考え方、②障害者差別解消法の概要と沿革、③障害者差別解消法の施行状況、④障害者差別解消法の見直しの検討となっていて、不当な差別的取扱いとはどんなことか、正当な理由がある場合とは、合理的配慮の提供とはなどについて様々な相談事例をあげて講演されました。

内閣府では、平成31年2月から障害当事者を含む障害者政策委員会において障害者差別解消法の見直しの検討議論が行われているとのことでした。

講演終了後は、会場から多数の質問・意見が出され、大変熱気を帯びた充実した研修会でした。

なお、令和2年度の福祉大会・相談員研修会は、和歌山県で11月18日に開催される予定です。



## 「第34回障害者による書道・写真全国コンテスト」審査結果

全国障害者総合福祉センター(戸山サンライズ)が、毎年実施する「書道・写真全国コンテスト」に、今年度も全国から、書道に804点、写真に151点、計955点の応募があり、10月16日に写真部門、10月17日に書道部門の審査会が開かれ、厳正な審査を経て、入賞作品94点が発表されました。

その結果、兵庫県から出展された13点(書道12点、写真1点)のうち、橋本直樹さん(三木市)の書道作品「青」が銀賞を受賞されました。入賞誠にめでとうございます。

入賞作品については、東京の同センターにおいて3月31日まで展示されています。来年のコンテストにも、多くの方々のご応募をお待ちしています。



# 兵庫県障害者芸術・文化祭と 兵庫県障害者福祉大会が開催されました

去る11月30日（土）、養父市立八鹿文化会館において、第15回兵庫県障害者芸術・文化祭（舞台部門）並びに令和元年度兵庫県障害者福祉大会が、県内の身体障害者、知的障害者、精神障害者とその団体の関係者など、600名の参加を得て盛大に開催されました。

障害者福祉大会では、長年にわたり地域の身体障害者団体の育成強化に多大な貢献をされた方々へ当協会の理事長表彰が行われました。

受賞された方々は次のとおりです。  
（敬称略）

■地域身体障害者団体体育成功表彰を受けた20名

- |       |       |
|-------|-------|
| 長谷 基弘 | 田中 陽子 |
| 堀川 末吉 | 笹倉 敏郎 |
| 藤本 進  | 木村 晃信 |
| 中塚 隆二 | 家納 昭次 |
| 吉岡 賢治 | 田内 征子 |
| 中川 博雄 | 田中 正一 |
| 池本 茂則 | 大田 光夫 |
| 井上 正一 | 上田 正晴 |
| 高見 郁雄 | 小嶋 朝子 |
| 平磯 安恵 | 堤 栄伸  |

障害者福祉大会を間に挟み、芸術文化活動を通じて障害のある人の自己表現と社会参加を進めるとともに、障害

の有無に関わらず交流を通して共感と感動の輪を大きく広げることが目的に、芸術・文化祭の舞台部門が開催されました。

オープニングは、養父市公民館主催の和太鼓教室に通う小学生から高校生のジュニアチームによる力強い若い太鼓の響きに始まり、手話ソング披露、合奏、合唱、ダンスよさこいなど、多数の出演者やボランティアのお蔭で、この祭りを盛大に開催することができました。

ご参加頂きました地域団体、関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。



## 障害者のための弁護士・福祉専門職無料法律相談

（毎週火・木曜日13：00～16：00）

※祝日・年末年始を除きます。木曜日は兵庫県弁護士会の自主事業として実施しています。



# 相談



差別や虐待、悪徳商法、財産管理等々。法律に関わる問題について困っていることはありませんか？皆様のお悩みに、弁護士と福祉専門職（社会福祉士・精神保健福祉士等）が三者同時通話システムを使って無料で対応します。

相談対象者：①障害者（本人） ②家族や支援機関の職員 ③行政機関の職員  
④障害者雇用の企業担当者等

電話：078-362-0074

FAX：078-362-0084

※法律的な観点からの助言を行うものであり、差別事案等の解決まで保証するものではありません。

※ファクスにつきましては、回答文書作成等のために時間を要することがありますので、あらかじめご了承ください。

※この法律相談は高齢者向け相談と併せて実施しています。

【お問い合わせ先】

兵庫県健康福祉部障害福祉局障害福祉課

TEL：078-362-9104

FAX：078-362-3911

# 「みんなの声かけ運動」の主な活動等について

兵庫県ではだれもが街なかで困っているときに声をかけて助けあう、「みんなの声かけ運動」を実施しています。子どもたちによる「みんなの声かけ運動」ポスター等の募集・展示

県民への理解促進を図ることを目的に、子どもたちによるポスター等の募集・展示を実施しています。今年度は日ノ本学園高等学校（姫路市）の生徒の皆様にご協力をいただき、街なかでの助け合い等について創意工夫を凝らした心温まる作品を送っていただきました。令和

2年1月31日まで兵庫県福祉センター1階県民サロンに展示しておりますので是非ご覧ください。



## 「みんなの声かけ運動」推進員研修交流会の実施

日頃から、活動にご協力いただいている「みんなの声かけ運動」推進員の方等を対象に、県内5地域で研修交流会を実施しています。今回のテーマは「人権」で、(公財)

兵庫県人権啓発協会の講師を招いて講話いただいています。平成30年に実施された人権に関する県民意識調査では、特に関心のある人権問題の1位が「障害のある人に関する問題」となっており、「働く場所や機会が少なく、

仕事上の待遇が十分でない」「段差解消やエレベーター設置など障害のある人が暮らしやすい街づくりへの配慮がたりない」などが挙げられています。政府は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、「ユニバーサルデザイン2020(行動計画)」をとりまとめました。その中で「障害の社会モデル」という考

えのもと、障壁の除去に関わる取り組みを進めていくべきだと述べています。「障害の社会モデル」とは、例えば車いすを使用されている方が2階にある店舗に行けないという問題が起こったときに、車いすが必要な本人や症状が悪いのではなく、車いすの方が通れるスロープなどが設置されていない店舗やそれを許す社会など、周囲の環境を指摘するものです。障害のある方が抱える困りごとや悩みは様々で、障害の社会モデルという考え方のもと、当事者と周囲の方が対話をし、創意工夫を凝らすことが問題の解消には重要です。

今後、ご参加頂いた推進員の皆様との意見交換や優良事例の共有などを企画し、推進員研修講習会がさらに有意義な時間となるよう取り組んで参ります。

## 参加

ふれあいフェスティバルin北播磨に参加 ひょうごの「元氣」と「魅力」を発信する「ふれあいフェスティバルin北播磨」が10月26日(土)、27日(日)の2日間、三木市総合防災公園で開催されました。地元の人、学生、企業、NPO等のブースには、農産物、グルメ、地場産業の播州織や金物などバラエティに富んだ北播磨の魅力が溢れていました。ふれあいステージでは、よさこい、キッズダンス、愛くるしく

どこか親しみのある北播磨のご当地キャラクターショー等が行われ、子どもから年配の方まで多くの方を魅了しました。兵身協では、みんなの声かけ運動推進員の方と一緒にティッシュの配布や障害のある方への支援方法についてのDVD放映、ヘルプマーク・ヘルプカードの掲示等を行いました。「これしってるーみたことあるー」とヘルプマークを見たことがある方は多数おられたのですが、「でもこのマークって何のマークなん？」とマークやカードの意味まで

ご存知の方は少数でした。電車でもヘルプマークを付けている方を見かけた席を譲る、ヘルプカードに必要な配慮等を記入し携帯することで災害時などにも有効であることなど、ヘルプマークについて更なる普及が必要だと思われました。今後もみんなの声かけ運動やヘルプマーク等の普及について、引き続き皆様のご協力よろしくお願致します。



**松葉ガニなら、山陰浜坂で!**

写真はカニファミリーコースです  
(カニすきのみ2人前、その他は1人前です)

カニファミリーコース  
平日1泊2食 1室2名様利用  
大人お一人様  
(障がい者手帳をお持ちの方)  
**¥11,600(税込)**

<お品書き>  
カニすき・お造り(甘えび)・カニ味噌・カニ雑炊・フルーツ

**浜坂温泉保養荘**  
おんせんとうまいもんでおもてなし  
☎(0796)82-3645  
〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775  
<http://www.hamasaka-ni.com/>